

# 第一回高校生国際シンポジウム 実施報告書

## 大会概要

- 主催 特定非営利活動法人グローバルアカデミー，鹿児島県立甲南高等学校，
- 後援 鹿児島県教育委員会，鹿児島市教育委員会
- 協賛 公益財団法人 船井情報科学振興財団  
株式会社 新興出版社啓林館，株式会社教育情報サービス
- テーマ 21世紀に生きる我々は，より良い未来のために何をすべきか
- 目的 日頃の研究成果をプレゼンテーションやポスター発表をとおして，生徒が自らの考えを発表するとともに，生徒間の交流を深めながら今後の課題研究を進めていく指針となることを期する。
- 期日・会場 平成28年2月12日（金）サンエールかごしま  
〒890-0054 鹿児島県鹿児島市荒田1丁目4-1  
平成28年2月13日（土）鹿児島大学農・獣医共通棟 101講義室  
〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元1丁目21-40
- 日程

【1日目】2月12日（金）		【2日目】2月13日（土）	
サンエールかごしま		鹿児島大学農・獣医共通棟 101講義室	
受付	10:00～10:30	受付	9:00～9:30
開会行事	10:40～11:10	ビデオメッセージ	9:30～9:45
基調講演	11:15～11:45	矢口祐人先生総評・講演	9:45～10:30
昼食	11:45～12:45	益田隆司先生講演	10:40～11:10
パネルディスカッション	12:45～13:45	表彰式	11:10～11:30
研究発表コンテスト（※）	14:15～16:00	閉会行事	11:30～11:50
・プレゼンテーションの部			
第1部	(14:15～16:00)		
第2部	(16:15～18:00)		
・ポスター発表の部			
第1部	(14:15～15:45)		
第2部	(16:00～17:30)		

※参加者の寡多により時間に変更になる場合もあります。

## 8 講演

1日目 基調講演 文部科学省初等中等教育局教科調査官 向後 秀明 氏  
演題『これからを生きる君たちへのメッセージ』

### プロフィール

文部科学省初等中等教育局教育課程課・国際教育課外国語教育推進室教科調査官，国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官。千葉県公立高等学校の教諭，千葉県教育庁教育振興部指導課指導主事を経て，平成22年4月より現職。

## 2日目 講演 オックスフォード大学教授 荻谷 剛彦 氏

演題『これからの社会課題にどう向き合うのか』

### プロフィール

オックスフォード大学社会学科教授・同大学ニッサン現代日本研究所教授。ノースウェスタン大学大学院博士課程修了。Ph.D (社会学)。放送教育開発センター助教授，東京大学大学院教育学研究科助教授，同大学院教授を経て 2008 年から現職。

### 主な著書

#### 1 0 パネルディスカッション テーマ「高校生にいま必要なこと」

パネリスト 益田 隆司 公益財団法人船井情報科学振興財団理事

矢口 佑人 東京大学大学院教授

黒木 豊 日本たばこ産業株式会社経営企画室調査役

伊丹 利明 宮崎大学国際連携担当副学長、国際連携センター長。

荒田 修 鹿児島県立甲南高等学校教頭

司会者 岡本 尚也 NPO法人グローバルアカデミー協同代表

#### 1 1 参加者 全国の高等学校，中等教育学校に在籍する生徒及び教員，その他本シンポジウムに関心のある教育関係者

#### 1 2 研究発表コンテストについて

(1) 参加資格 継続的に課題研究を行っている国内外の高校生

(2) 発表形式 発表は，プレゼンテーションの部，ポスター発表の部の2部門で行う。

(3) 発表分野 プレゼンテーションの部，ポスター発表の部に共通して，以下の4分野で行う。

分野1	人文共生（文化・民族・外国人），哲学・普遍的価値（法・人権），歴史・文化・宗教・言語
分野2	地域，女性の活躍，都市・生活環境，観光，教育，防災・復興，政治
分野3	医療・衛生・福祉，持続可能な発展・循環型社会，環境，生物・生活環境，農業・食糧
分野4	国際関係，経済・ビジネス・産業・社会起業・CSR，資源・エネルギー

(4) 発表数 プレゼンテーションの部，ポスター発表の部それぞれ各分野の上限発表数を10とする。申込が各分野とも10を超えた場合は，大会事務局において別紙1を元にして書類審査を行い，発表者を決定し，発表する。

(5) 発表時間 **プレゼンテーションの部** プレゼン時間12分，質疑応答8分

**ポスター発表の部** 発表時間7分，質疑応答3分

※各部とも英語での発表の場合は，質疑応答も原則英語で行う。

※時間を超過しないようにすること。

(6) 表彰 各セクションとも，4分野それぞれの最も優れた発表に最優秀賞を，またそれ以外の優れた2つの発表に優秀賞を与え，表彰する。なお，プレゼンテーションの部の最優秀賞は英語での発表のみに限る。

## 大会参加者

### ① 審査員・パネリスト一覧 (敬称略)

(公財) 船井情報科学振興財団	益田 隆司	パネリスト・ゲスト講演者
東京大学	矢口 佑人	研究発表コンテスト審査員長・パネルディスカッション・パネリスト
文部科学省	向後 秀明	基調講演
宮崎大学	伊丹 利明	パネリスト, プレゼンテーション審査員
日本たばこ産業株式会社	黒木 豊	パネリスト, プレゼンテーション審査員
鹿児島県教育委員会	荒田 修	パネリスト, プレゼンテーション審査員
宮崎大学	アダチ 徹子	研究発表コンテスト プレゼンテーション審査員
高崎商科大学	萩原 豪	
九州大学	Edward Vickers	
鹿児島大学	Mun' delanji C.M. Vestergaard	
財務省	御友 重希	
信州大学	桃井 謙祐	
株式会社教育情報サービス	荻野 次信	
	井崎 宏	
一般社団法人 グローバル教育推進プロジェクト (Gift)	木村 大輔	
愛媛大学	隅田 学	
宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校	西山 正三	研究発表コンテスト ポスター審査員
NPO 法人グローカルアカデミー	田阪 真之介	
株式会社新興出版社啓林館	本間 文勝	
	若松 悠夏	
熊本県立済々黌高等学校	鶴濱 正悟	
	長谷川 安代	
原田学園鹿児島キャリアデザイン専門学校	木藤 絹子	

### ② 参加教員・生徒数, 総動員数

参加教員	19 の都道府県より 24 校 40 名の参加
参加生徒 (発表者)	8 の都道府県より 10 校 87 名の参加
総動員数 (一般観覧含)	328 名

## 研究発表審査結果

### プレゼンテーションの部

#### 部門1・4

最優秀賞	甲南高校	吉留 梨央	2年
優秀賞	甲南高校	隈本 惇心	2年
優良賞	甲南高校	山澤 優奈	2年

#### 部門2

最優秀賞	甲南高校	末川 遥菜	2年	原口 知佳	2年	
優秀賞	大口明光学園高校	田中 彩芽	2年	猪野 未晴	2年	岡崎 薫 2年
優良賞	甲南高校	中村 彩夏	2年			

#### 部門3

最優秀賞	甲府第一高校	高橋 慶伍	2年	服部 廉太郎	2年	丹沢 千文 2年
優秀賞	長崎東高校	藤本 真緒	1年	松田 みなみ	1年	
優良賞	池田高校	中村 美月	1年	臧 瑞欣	1年	西牟田 佳那 3年

### ポスタープレゼンテーションの部

#### 部門1・2

最優秀賞	甲南高校	堀田 智之	2年			
優秀賞	宮崎大宮高校	中尾 泰河	2年	原 茉莉菜	2年	長谷 夏帆 2年
優良賞	甲南高校	本白水 晴生	2年			

#### 部門3・4

最優秀賞	高岡高校	栗原 絵	2年
優秀賞	甲南高校	星川 未来	2年
優良賞	甲南高校	黒岩 洸起	2年

## アンケート結果

### 全国高校生国際シンポジウム アンケート結果

今回のアンケート方式では、教員・生徒・審査員、県内（甲南）・県外の区別を尋ねておりませんでした。次回から改善します。

#### 1 基調講演はいかがでしたか？

（大変良い 67名 良い 30名 普通 5名 悪い 0名 大変悪い 0名）

- ・ 昨日正しかったことが、今日は間違っているかもしれない”のように何が起こるか分からない世の中で臨機応変にその場で自分で考えて行動しなければならないと思った。
- ・ 英語だったので始めはびっくりしたけれど、内容はとらえることが出来た。私たちに、今大切なことを学ぶことができた。
- ・ 体験やグラフを織り交ぜながら論理的な話を聞くことができ説得力があった。
- ・ 分かりやすく、やさしい英語で、これからの必要な力が何かよく分かった。
- ・ 英語のプレゼンが心に響きました。英語が話せるようになりたいと思いました。
- ・ 自分たちも考えながら聞くことが出来たし、とても面白かった。
- ・ もっと英語を使ってコミュニケーションをとりたいなと思いました。
- ・ 【これから生きる君たちへのメッセージ】という題で、高校生である自分たちに寄り添った話をしてくれた。聞き入ってしまった。
- ・ 自分たちのこれからについてしっかりと考える良い機会になった。貴重な話が聞いて良かった。
- ・ 英語での講演だった為、内容は分かりませんでした。熱い思いが伝わってきました。しかし、聴衆の殆どが日本人のため英語は不自然でした。でも、そういう趣旨なのでしょうね。
- ・ 英語だけどすごく分かりやすい。プレゼンテーションについても勉強になった。
- ・ 全て英語でしたが、とても分かりやすく面白かったです。体験型の講演だったのでより引き込まれました。
- ・ 英語の講演でも伝わるようにとても分かりやすく話してくださって、あっという間に感じるくらい楽しかった。30分が短く感じた。
- ・ 非常に面白くて、分かりやすいうえ、とても意味深い内容でした。団体合作の重要性を感じました。
- ・ 積極的に、自分で興味を向けることの大切さを知りました。楽しい講演で時間があっという間に過ぎました。
- ・ 素晴らしく、聞きやすい楽しいプレゼンでした。高校生向けであれば、もう少し難しい内容でも良いかもしれません。
- ・ ジョークを交えた講演でとても面白かったです。“英語を使う”とか“変化に柔軟に対応する”とか当たり前のことだけど、考えさせられました。
- ・ これから何が必要とされるか考えて行くことが必要になると思った。
- ・ 「高校生と話したい、伝えたい」という向後先生の思いがとても印象的でした。
- ・ 私たちにとっても分かりやすい英語で、面白かった。

- ・ ユーモア溢れる話で、国際社会で生きていく力を身につけるきっかけになったと思う。
- ・ 英語で講演を聴くのは初めての経験でとても良い経験になりました。その反面、深く内容が理解出来ない部分があり、両語で理解出来る講演だったらもっとよかったなあと思いました。
- ・ 英語がとても分かりやすく、私たちに問いかけるように話して下さったので、つつい前のめりになって聞き入ってしまいました。「考え、目標を決め実行する」。をしっかりと実践していきたいと思えます。
- ・ 内容が自分たちに直接かかわるもので、聞きやすく時間が早く過ぎた気がした。
- ・ ユーモアもあるし、プレゼンのスライドのデザインや話し方など、お手本にしたいと感じました。
- ・ “Please be positive! We don't have time of being negative!” という言葉が印象に残った。これから心掛けていきたいと思った。
- ・ 大学までじゃなくて、大人になってからも学ぶことが重要だとわかった。  
SGH の位置づけ、英語教育の方向等について向後先生のお話を是非伺いたくて鹿児島に来ました。その甲斐あった講演でした。(私は国語教師です)  
現在、英語指導法の改善に着手した本校にとって、非常に参考になる内容、スタイルでした。是非持ち帰って報告しようと思えます。
- ・ 途中のゲームですごく引き込まれました。ゲームを通じて伝えたいことを実感させるのが凄い。日頃から英語を使ってコミュニケーションをとっていきたいです。
- ・ 英語は使ってこそ生きるものだ実感しました。海外交流などのイベントも大切ですが、まずは日常の中で英語を自分のツールとして使いこなせるようになりたいです。
- ・ 分かりやすい英語でとても勇気づけられました。私自身も英語をすらすら話したいと改めて思いました。
- ・ 参加型プレゼンテーションが上手で素晴らしく、内容も考えさせられるものだった。
- ・ 随所に工夫を凝らしたプレゼンで胸を打たれた。
- ・ 話もためになり、話し方も勉強になりました。
- ・ 日本人がもっと海外へ進出し、多様性について考えていかなければならないと思った。
- ・ 英語の講演でびっくりしました。最初に一言ことわっていただければ、聞く心構えが出来たと思う。
- ・ ペアワークをさせる等、アクティブラーニングを地で行くスタイルで、分かりやすく飽きのこないプレゼンでした。
- ・ 話し手の裏付けが確立され、中身があった。生徒たちが勇気づけられ、これからの人生をたくましく生きていけるような内容である。生徒たちの理解力にも感心した。
- ・ 大学じゃなくて、大人になってからも学ぶ姿勢が重要だとわかった。向後さんの言葉が胸に刺さりました。

## 2 パネルディスカッションはいかがでしたか？

(大変良い 58名 良い 33名 普通 9名 悪い 0名 大変悪い 0名)

- ・ 岡本さんのパネラーへの話のふり方が素晴らしかった。パネラーはどんな課題でも答えていてさすがだと思いました。多様性という一つの課題でも、ずらすことの出来る絶対性のない境界線をあらゆる方向、場所に引くという言葉はとても印象的だった。
- ・ 幅広い経験をし、様々なものに興味をもって追求していきたい。英語も鍛えたい。
- ・ 話自体は面白かったが、話の落としどころが分からなかった。
- ・ 伝統と多様化についてのディスカッションが面白かった。
- ・ 大学の先生からアドバイスをもらえたり、とても良い時間でした。大学のことを真剣に考え、地元で満足せずに頑張りたいです。
- ・ 「グローバル化」「多様性」という難しい課題に対するたくさんの先生方の意見を聞けて、興味深かった。
- ・ 「多様性」という視点から「東京大学」「地方の大学」「高校」「企業」という様々な立場での意見が面白く、考えさせられた。
- ・ 一つのことを、様々な視点で考えを深められ良かった。
- ・ 「多様性」は確かに必要なものであると感じると同時に、それを目指す上での問題点も多いのだ痛感しました。多くの発展的な意見が出て良かったと思います。
- ・ 地方と東京の大学の違いが聞けて勉強になった。
- ・ 先生方のパネルディスカッションを通じて、今私たちに必要なことが見えてきたような気がします。5人の先生へ様々な意見を聞くことができ、貴重な経験となりました。
- ・ 大学の先生や企業の方といった様々な立場にある人たちの視点から話される議論を聞く機会は滅多にないので良い機会となった。
- ・ 大学、高校、企業が一つの舞台で問題やテーマについて語るのはとても少ないので良い機会。いろいろな見方で問題を見ると、新しい考えが湧いて来て、楽しかった。
- ・ 一つの質問に対して様々な角度から意見を聞くことができ有意義な時間となりました。
- ・ 一時間では短い程、豪華な先生方だったのでデモレートが大変だったと思いますが、岡本さんの的確な振り分けが素晴らしかったです。大学の先を見据えた多様なパネリストがいてもいいのかなと思いました。
- ・ 東大の出身校が偏っていること、また、それに対する東大教授棟の議論など、普段聞くことができない東大の内情を知ることが出来ました。都会に劣らず、地方からも東大に行けるんだ！と希望が持てました。「多様性」についても自分の身近な生活の中で考えていきたいと思います。
- ・ 自分の進路について考える、良い機会となりました。
- ・ 面白かったが、“多様性”がいいのか、文化を知ることが良いのかが分からなかった
- ・ 自分には興味のない内容だった。
- ・ “多様性”と“伝統”をどこでどう線引きするのかというのが印象に残った。これからのことを考えるよい機会となった。
- ・ 面白かったが、“多様性”がいいのか、文化を知ることが良いのかが分からなかった。

- ・ 係の関係で、見る事が出来ず、すごく残念だった。
- ・ ものすごくレベルの高いパネルディスカッションを拝見できて嬉しかったです。
- ・ “高校生に今必要なこと”という、私たちに身近なテーマでディスカッションが進められていたので、すんなり聞くことが出来ました。
- ・ “多様性”は確かに必要なものであると感じると同時に、それを目指す上での問題点もとても多いのだというように痛感しました。
- ・ 立場の違う人から、我々が直面する様々な問題について意見を伺うことができ、勉強になりました。高校生からの積極的な質問が良かった。
- ・ 自分の進路のことも照らし合わせながら聞くことができ、とても参考になった。
- ・ 岡本さんの回し方が上手くて、時々難しい表現等の解説もして下さったので大変面白かったです。
- ・ 地方大学と都市大学、二つの視点から話を聞けたところが良かった。グローバル化や男女平等など、考えなければならないことは山積みで、その解決策は私たちが考えなければいけない、ということ強く実感しました。質問の時間がもう少し長ければ良かったです。
- ・ 初めてパネルディスカッションというものを体験した。多大な知識量の方々のパネルディスカッションは聞き応えがあり楽しかった。
- ・ もう少し生徒の質問の時間をとって欲しい。
- ・ パネリストの発言回数に偏りがあった。東京大学の話に偏りすぎたと思う。
- ・ Diversity 話はレイヤーが異なるディスカッションになっていたことが残念だった。東大色が強すぎた。
- ・ 生徒さんが物怖じせずに参加されていたのがとても素晴らしかったと思います。
- ・ 特に多様化についてのディスカッションが深まったことは有意義であった。なぜ、多様性が必要なのか、多様性とは何かについて、これからも考え続けていきたい。
- ・ 多様性とは受け入れるという考えに全面的に賛成です。
- ・ 生徒を巻き込んで議論できたのが良い。
- ・ 討論を聞きながら、自分で考えることができ、有効な時間を使えたと思う。
- ・ 係の関係で見ることができず、すごく残念だった。



### 3 研究発表コンテストはいかがでしたか？

(大変良い 49名 良い 35名 普通 18名 悪い 2名 大変悪い 0名)

- ・ 研究発表はとても充実していたと思います。強いていうと、最初にコンテストを行う上での説明（例えば、残り〇分ですをベルで鳴らす）等が無かったので戸惑ってしまいました。事前の説明があれば、もっと良かった。
- ・ どの生徒もとても頑張っているのが分かった。英語での発表と日本語での発表では何か採点基準が違うのか？ 発表に関する事前説明が欲しい。
- ・ ポスター発表は見やすく貼ってあり良かった。部屋でやっていたのをホワイトエの班のように外に出した方がもっとよくなる気がする。
- ・ 生徒の主体性がよく見えました。運営の部分は特に素晴らしかった。来年二回目の時はもっともっと多様な全国の生徒が集まるといいなと思いました。ポスター発表を中心に見せていただきましたが、発表の仕方をもう少し工夫された方がよい。相手に自分の思いを伝えること、テーマに自分の思いが乗っていることがなにより大切だと思います。
- ・ 発表者も他の人の発表を見られる時間が欲しかった。ポスター発表の形式の詳細（マイクを使うか、どうやってポスターを貼るのかなど）事前に説明が欲しい。
- ・ 自分の部門でない人たちの発表にとっても興味があったので、見る事が出来ず残念。もう少し時間をとって、もっとたくさんのプレゼンやポスター発表を見れるようにすると良いと思います。
- ・ 甲南高校の生徒が、司会、接客をしてくださり、とても助かった。その生徒自身がコンテストにも出ていたので、切り替えが素晴らしいと思いました。
- ・ 緊張しましたが、時間内に発表できて良かった。審査員からの質問で、「どう思うか」という質問が多くて、すぐに自分の意見をまとめながら相手に伝えることが難しいなと思った。これから鍛えたい。
- ・ 審査員の数が意外と少なくて、時間が余ってしまったのでそこは改善の余地があるのではないかと思った。
- ・ 私も参加させていただいた側として、審査員の方、また、甲南高校、長崎、宮崎県の方々にたくさん刺激をもらいました。自分より下の後輩からフィードバックをもらうことで、同年代とは違うユーモアのある意見、全く異なる視点からのフィードバック意見に、新たな視点を学ぶことが出来、自分自身を成長させられました。
- ・ 私の学校でも課題研究を実施していますが、あまり聞いたことないテーマばかりで、とても面白かった。地域の課題に密着したものが多く、自分の住む県で行ったらどうなるのか興味がわきました。殆どの発表を英語でして、自分との力の差を感じ、これから更に英語に力を入れたいと思いました。私はポスターの部に参加したのですが、開始と終了の時刻の明確なアナウンスが無かったので分かりにくかったです。
- ・ 理系の分野がもう少し増えればいいなと思いました。
- ・ 他の人の発表が堂々としていて格好良かった。質問の内容が、発表を聞いていればわかることだったので少し失礼ではないかと思った。
- ・ 提案として参考文献などの案は自分たちなりに書を換え、発表しているような班が多く見られ、物足

りなさを感じた。自分の研究の足りなさをごまかすような研究結果の発表の仕方を変えていく必要があると思う。

- ・ 英語に関して、語の使い方、文法方面で誤りが目立った。正しい英語の用法、発音、アクセントは大切。
- ・ 甲南高校の生徒さんは、英語を使って伝えようとする姿勢が強く感じられました。ただ、仮説と結論の整合性がとれていないものも見られたので、改善の余地はあるように感じました。こちらも勉強になる発表でした。
- ・ 高校生にこのような発表の場を与えることはとても有意義なことだと改めて感じた。外部の人が審査員になることで、高校生も“大人扱い”されたと感じもしたのではないかと思う。ポスターセッションの会場は出来ればもうすこし広い場所があれば良かったかもしれません。
- ・ 甲南生徒は甲南生徒の発表のみを聞きに来ていたので、次回からは最初から最後まで聞いた方が良いのではないのでしょうか。
- ・ パソコンの接続に時間を要したり、不具合が生じたりしましたが、USB だけ持参するように出来れば良かったと思う。甲南高校チームの発表になると在学生在が押しかけ、終わると去っていきましたが、県外チームに対してやや失礼だったのではないのでしょうか？ しっかり参加させるべきだと思う。内容的には高く、勉強させていただきました。
- ・ ポスター発表会場が狭かったのに、K I の授業で来ていた甲南生までぞろぞろと見にきたのは邪魔でしかなかった。静かにポスターを見るわけでもなく、ただ喋りながらポスター会場を歩いて回って出て行くだけなら来ない方がいい。
- ・ プレゼン、ポスター全て完成度が高く、面白かった。ただ、甲南生が学校から来るときは、少しずつの方が面倒だったし、うるさかったので、むしろ一気に来てもらったほうが良かったと思う。
- ・ ホール以外の部屋の狭さ（他多数）
- ・ 質疑とアドバイスを明確に区別するよう、審査員に事前注意を。違いが明確でない。
- ・ 発表中に関係のないインターネットを見たり、LINEをしたり、寝ている先生方がいて気が散った。（他二件）
- ・ どこの生徒もとても頑張っているのが分かった。英語での発表と日本語での発表では何か採点基準が違うのか？ 発表に関する事前説明が欲しい。
- ・ 発表内容自体は、仕上がりがそれぞれでしたが、真摯に取り組んでいる姿に感銘を受けました。質疑応答もしっかりと答えていました。
- ・ 審査員のみならず、生徒にも質問する時間があればいいと思った。（他多数）
- ・ 楽しかったです。同じ高校生が頑張っているのを見て自分も頑張ろうと思いました。英語をすらすら話している人を見た時、同じ高校生じゃない！ と思い、刺激を受けました。たくさんの分野があり、一人違う研究をしていて見応えがあり面白かった。
- ・ ポスターが殆ど英語であり、私の学校での取組とは異なる点があったが、参考になった。
- ・ 自分の学校では、プレゼンを見合ったりすることはなかったので、他の学校のみなさんの課題研究を見るのは刺激になった。自分のプレゼンはまだまだだなと感じるところがありましたが、先生方からいただいたアドバイスを活かして、もっともっとよくしていきたい。
- ・ 審査員のみならず、生徒にも質問する時間があればいいと思った。（他多数）

- ・最後の審査員の質問に上手に答えられなかったのが悔しい。聞く力の欠如が目立った。また、自分たちの主張が上手く伝わらないところがあった。主張の点をもっと明確にしたい、プレゼンに悔いはない。度胸が付いた。
- ・時間がおしていた。研究発表も二日にわけると時間に余裕が出来るかも。
- ・審査員がいないとポスター発表が聞けないのは改善して欲しい。
- ・ポスターの時間が暇をもて余した。甲南生がたくさんいた為に、審査員が入れないという状態でした。
- ・ポスター発表の部屋に人が入りすぎ。出入りが多すぎ。集中できなかった。
- ・緊張しましたが、日頃の発表を通しては得られないような御意見やアドバイスを頂けて、今後プレゼンの内容を向上していけるような気がしました。運営側としては上手く回しきれず時間がおしてしまったので4と評価しました。
- ・本校からも発表させていただいたが、今回のように様々な学校の生徒の発表を聞くことができたこと、学校教員以外の方々からの質問やアドバイスをいただくことが出来たことは生徒たちにとって自分の課題研究を今後も発展させるうえで有意義であった。
- ・生徒さんたちの発表が堂々としていてとても良かった。加えて、審査員の先生方の評価、質問が鋭く大人向けの会議でなされるようなレベルだったので高校生にとってとても貴重な好機になったと思います。すごい世界を見せていただきました。

#### 4 講演及び講評（矢口祐人氏）はいかがでしたか？

（大変良い 90名 良い 13名 普通 3名 悪い 0名 大変悪い 0名）

- ・ パネルディスカッションで出た題材を元にした講演だったので興味深かった。
- ・ 各大学での男女の比率，日本と世界の大学の男女の比率の違いに驚いた。なぜこのようなことが起きているのか，自分でも考え調べてみたいと思った。15 分間のリスニング，今までにないくらい真剣に聞いた。
- ・ 分かり易くきれいな英語だった。コンテストのコメントでは本質を突いていた。
- ・ 研究というものをやっていく上で，どういうことに注意すればいいのかを知った。女性の社会進出についての話が面白く，大学の男女比率には驚かされた。
- ・ 講評としてのまとめが素晴らしかった。課題研究を指導する上での指標として勉強になりました。プレゼンに対する講評もたくさんしていただけて良かった。
- ・ プレゼンの仕方が上手でした。論理的で面白い。  
問いを持つことの大切さ。また，その問いが日常の当たり前だと思っていることの中に存在していることに気付くことの大切さを改めて認識させられた。
- ・ さすが東大の先生です。この講評は心に留めたい。SGHで学ぶ重要なこと。
- ・ 丁寧なコメントで，生徒達も参考になったと思う。終了後，複数の生徒が質問にいていたことから，非常に刺激になったことがうかがえた。
- ・ 東大で日々学生に接している先生のお話，まさにローカルとグローバルの問題につながられ，とても興味深かった。高校生にとっては興味のある内容だったと思う。研究の手順も分かりやすく教えていただき良かったと思う。
- ・ 温かくも適切で的確なアドバイス。プレゼンの模範となるような講演。
- ・ 「課題」というのは，自分の周りに簡単に転がっている。そして，その課題にどう向き合えばいいのだろう。そういうことに高校生の僕たちがどう立ち向かい，答えを出すべきかが分かったような気がした。やる気が湧いてきた。
- ・ プレゼンテーションについてのコメントを聞いて「確かに！」と思いました。  
大学の男女比例だけで，色々な問題につながり，男女平等の社会問題でもつながりがあることはとても驚いた。その問題の間につながりを見つけることはとても楽しいことだと感じました。
- ・ ジェンダーは日本ではあまり取り上げられない話題だけど，私は重要と考えなければならない問題だと思っていました。そんな中，大学という視点からジェンダーのお話を聞けて，とても貴重な体験が出来ました。
- ・ 課題研究の進め方や，問題意識を持つことの重要性等，分かりやすく伝えていただき，生徒，参加職員すべてにとって，とても有意義な御講演でした。  
ありがとうございました。

## 5 ゲスト講演（益田隆司氏）はいかがでしたか？

（大変良い 100名 良い 7名 普通 1名 悪い 0名 大変悪い 0名）

- ・ユニークな中にも体験に基づくポジティブなメッセージが高校生に伝わったと思います。
- ・“神聖なる20代の10年間”これからの10年間は特に好きなことに向かって進めるように頑張りたい。そのためにも勉強を頑張る。
- ・これから自分の好きなことを見つけて、他人や時代の流れに流されずに突っ走っていきたい！面白く楽しかった。
- ・奨学金の利用は自分自身考えていたことなのでとても役に立った。院に留学すれば無料という事を初めて知りました。頑張りたいです。
- ・世界は広いということを改めて感じました。今この10代の時代を大切に、世界へ羽ばたけるような人間になりたいと感じた。
- ・非常に楽しかった。志望校に向けて本気で頑張ろうと思った。今聞くことが出来て本当に良かった。
- ・益田さんが紹介して下さった人達のように、何かに特化したものを持ちたい。私はついこの間まで留学したいと思っていたが、今は進路を変えました。今決めた進路で自分を磨き、特化したものを探していこうと改めて思った。
- ・自分の好きなことを見つけて貫こうと思いました。留学にも更に興味が湧いた。
- ・生き方の様々な具体例を示していただき、高校生には良い刺激になったと思う。先生の温かい人柄が感じられて良かった。
- ・留学についてのみならず「夢（希望）に向かうことの大切さ」を面白く語っていただいた。
- ・たくさんの出会いを大切に、好きなことを追求したいと思いました。先生の実体験や実際に留学した方々の話をふまえた先生のお話は、とても説得力があり、楽しく聞かせていただきました。
- ・自然体な講演がとても良かった。
- ・具体的かつ分かりやすく、高校生に大事なことを伝えていただき、説得力もあった。
- ・自分が高校生としてやるべき事、考えるべき事を具体例を用いて教えてくださったので、将来への希望が湧いた。すごく楽しくて有意義な時間だった。先生の話し方というか、ユーモアに大いに楽しませてもらいました。

## 6 高校生国際シンポジウムについて

- ・ 素晴らしい熱量，可能性を感じました。
- ・ 刺激を受ける良い機会となりました。
- ・ 次プレゼンをするときは今回学んだことを大切に頑張りたいです。
- ・ これからどう生きていくか，改めて考えたいと思った。
- ・ 将来の夢を実現するために，自分のやりたいことをはっきりと言える人になりたいと思いました。もし，第二回に参加できたら，その時は英語でプレゼンテーションしたいです。
- ・ 甲南高校の方は，英語が流暢で尊敬します。
- ・ 二日間，様々な人々と思いを共有でき，とても有意義な時間となりました。参加できて良かった。
- ・ 他校の人や，実績のある人素晴らしい方々との交流を通して，自分をもっと成長させたいと思った。
- ・ 素晴らしい方々の意見をいただける，とても良い貴重な時間でした。
- ・ 高校生活の中でも本当に心に残る時間を過ごせました。成長できた。来年も参加したいです。
- ・ ためになる話を聞いて良かったが，始めから受賞者が決まっている感じの質問と待遇だった。
- ・ 初めての参加で分からないことだらけだったけど，実際に終えてみて，素晴らしい体験が出来たと思いました。長崎という殻に閉じこもっていたので，他の県の友達にあって驚きを隠せません。これから将来に向けて頑張っていきます。
- ・ 第一回のシンポジウムでしたが，携わることが出来て良かった。来年以降も，もっといいものにして続けて欲しいです。
- ・ たくさんの人の話を聞けたり，交流を通して，自分自身の視野を広げることができ，とても良い経験となりました。
- ・ 同じ世代のみんなと意見交換ができ，また，著名人のかたと話すことができて楽しかった。
- ・ 学生の参加人数に驚いた。また，多様なゲストの数もこのイベントの大きさ，価値を感じた。
- ・ 甲南高校生がとてもよく働いていた。審査員，パネリストが素晴らしい方だったこと，本当に素敵な二日間になりました。ホテルまで送ってくれてありがとう！！
- ・ 発表する生徒も，運営に携わった生徒もいきいきしていて素晴らしかった。  
先生方の普段の御指導の賜だと感じました。数名の生徒さんと話をさせていただきました。自分が成長していると実感を持っているような印象でした。その一方で，大学進学については九州志望であるのは，やはり九州という地域性もあるのかなと思う。
- ・ 色々な地域からいらっしゃる個性的な方たちと出会うことがで，とても幸運だと思う。
- ・ S GH， S SH校の集まる貴重な機会。
- ・ 同級生がこのようなイベントの企画者，リーダーとなって運営している姿に感動しました。英語力も自分とは比べものにならないほど高く，本当に素晴らしかったです。お互いに刺激を受け合える，とても良い機会となりました。
- ・ 他校の生徒の意見にも触れることができ，視野が広がりました。この企画に携わった全ての方に感謝したい。
- ・ たった二日間だったのに，これからの自分の人生を決めてしまうような出来事がたて続いた気がします。来年も是非参加したいです。自ら初めてのことに飛び込んでいく姿勢を大切にします。

- ・ 甲南高校の先生方、生徒のみなさん、準備、運営等、大変お疲れ様でした。特に生徒の皆さんの温かい笑顔ときめ細かい対応には大変感動しました。二日間、本当にありがとうございました。
- ・ 第一回のスタッフとして動くのは大変だったけど全国の友達ができて良かった。
- ・ 交流会が楽しかった。たくさんの友達もできて、すごく楽しくて有意義な時を過ごすことができた。このシンポジウムに参加できて良かった。他県でも出来たらいいなと思う。ここで出会った友達とずっと仲良くしたい。
- ・ 高校生に一つの目標を作ってあげるという意味で、子供のやる気を引き出す素晴らしい会だと思いました。ありがとうございました。
- ・ 興味深く、また示唆に富むもので嬉しかった。感謝。
- ・ 大変刺激を受けました。事務局の方々の努力におなじSGH校として敬意を称します。おかげさまで、生徒にとって大変良い勉強になりました。運営お疲れ様でした。
- ・ 大学について考えたことは何度かあるが、大学院については考えていなかった。大学院に進むか進まないか、また進んだとしたらどう進むかについて考える良い機会だった。高校生として、じっとしてはられない。
- ・ 非常に素晴らしい企画でした。今後も続けていくことを願っています。
- ・ 時期の検討をお願いします。運営された有嶋先生を始め、甲南高校の先生方、ありがとうございました。
- ・ 二日目に参加しました。第一回が鹿児島でできたことを大変嬉しく思います。
- ・ 生徒たちが自主的に動いている姿がよく見られ、そういう風に仕向けてきた先生方も大変苦勞されたと感じました。鹿児島まで来させてもらって本当に良かったです。ありがとうございました。
- ・ 様々なプレゼンテーションや貴重な講演を聞くことで自分の視野を広げることができた。
- ・ 非常に良くオーガナイズされていました。企画された方々、運営された方々の努力を賞賛すると同時に感謝申し上げます。第二回を楽しみにしています。
- ・ 二日間でたくさんの講演をきくことができたので良かったです。改めて今後の自分、日本の将来を考える良い機会となりました。また、甲南高校の皆さん「おもてなし」にもすごく感動しました。二日間ありがとうございました。これからもお互い頑張りましょう。
- ・ 生徒に運営をさせるのは素晴らしい挑戦でした。生徒が「経験」を積む場、他校の生徒から刺激を得る場、生徒が自己肯定感を高める場となっていたと感じました。生徒がエネルギーに満ちあふれ、向上心に満ちあふれている姿を見る機会を与えていただき感謝します。
- ・ 本当に有意義な二日間で、自分自身のモチベーションもかなり上がりました。帰ってから今回吸収したことを心の糧に頑張りたいと思います。
- ・ 甲南高校の生徒の誘導や積極性が素晴らしかった。しかし、ひとり一人がもう少し質問に詳しく答えられると良いと感じました。会全体としては全国から多様なメンバーが集まり、視野を広げられる良い機会になったと思う。
- ・ 自分の将来について真剣に考えて悔いのない選択をしたいと思いました。留学にとっても興味があり、英語とコミュニケーション力をもっと伸ばしたいと思います。
- ・ 素晴らしいイベントだった！来てよかったです！生徒たちの活躍が本当に感動的でした。今後とも宜しくお願いします。(兵庫県 柏原高校 吉田)

- ・自分たちでは考えられない視点を得ることができたので、とても良かったです。山梨にはやっぱり駄目ですね…。教授の講演も面白かった。今度は是非、一高に来て下さい。

### ● 改善して欲しい

- ・とても楽しかった。ゲストの先生方の話がとても為になったし、面白かった。自分の発表や係などで、他の学校生徒の発表が見られなかったが残念だった。
- ・発表中に関係のない事（スマホをいじるなど）をする生徒や先生がいて、マナーが悪かった。
- ・研究発表に統一性を。
- ・甲南生の人数が多すぎた。甲南高校の主役感が強かった。
- ・時間がおす場面があり、巻くこともできていなかったなので、今回は改善して欲しい。
- ・会場は、人数を考えて用意して欲しい。
- ・ビデオ編集が下手。字幕の切り方に工夫を。質問を読む余裕か音声がないと苦しい。全体的に告知方法に問題がある。今回は必ずや改善を！！
- ・表彰はもう少し長くても良いのでは。
- ・生徒交流会に参加したかった。無理矢理もぐり込んでも良かったのか…。他地域から来ている生徒たちへのケアが足りないかもしれません。（メッセージなど、甲南の子向けのものが多かったです。）次年度より、多様な人々が参加することを考えてした方がよいと思う。
- ・ゲストの方への連絡が不十分だったと思う。お手伝いできることがあればお声をかけていただきたい。
- ・多様な審査員の方がいると良いですね。アイデアを具現化できるセクターの方など。（審査員の一人より）
- ・甲南の人数が多すぎた。1年生や生徒会は必要。最低限でよいと思う。
- ・事前の説明と違う場面が多々あった。
- ・ポスター発表において、甲南生は英語。県外の発表は日本語で違うのは条件が一致しない。審査（採点）にも何か関係あるのか？ 説明不足。
- ・事前の情報開示をもっと早くに行って欲しい。プレゼンテーションの形式についてももっと説明が欲しかった。講演を聞いて良かったです。とてもためになりました。
- ・KBCはカメラ、放送（司会）など上手に回していたと思う。生徒が多かったせいか、会場が狭かったせいか、ごちゃごちゃしていたように思う。
- ・二年生の生徒会だけで十分だった。レジュメはもっと早い時点で出来上がらせるべき。ポスター発表は不慣れな部分があったせいか、まだまだだと思った。みんなポスター発表を経験すれば良いなと思った。
- ・お疲れ様でした！！



## 当日の様子

